みんなの健康ラジオ

『皮膚の細菌感染症　第2回』

（2021年5月6日放送）

横浜市皮膚科医会

綱島診療所 そう皮フ科

宋　寅傑

丹　毒

真皮の細菌感染症

左の症例の左頬部拡大像

丹毒は 真皮の細菌感染症で、悪寒、発熱を伴って顔面や下腿に圧痛のある境界明瞭な浮腫性紅斑を生ずる。化膿性連鎖球菌（A群溶連菌）によることが多いため治癒後の腎炎発症に注意が必要である。悪寒、発熱を伴わない場合もある。上の写真は 左頬部に生じた丹毒の症例。

蜂窩織炎

真皮深層～皮下組織の細菌感染症

右下腿
に生じた
典型的な
蜂窩織炎

左足の趾の
間の足白癬
から細菌感染
を起こして
蜂窩織炎を
生じた症例
左の写真
とは別症例

蜂窩織炎は 皮膚の小外傷や 趾間型足白癬などから 細菌感染を起こして病変が皮下組織にまで達し、広範囲の発赤、腫脹、局所熱感を生ずる疾患。自発痛、圧痛を伴う。四肢、手足に起こりやすい。全身の悪寒、発熱を伴うこともある。主に黄色ブドウ球菌が原因となる。

イヌ咬創によるパスツレラ菌の感染にて生じた蜂窩織炎（左前腕・左手）

イヌやネコに咬まれると 時に パスツレラ菌の感染により 重症で治りにくい蜂窩織炎を発症することがある。

感染性粉瘤に伴う蜂窩織炎

皮膚にできた嚢腫（袋状の病変）に細菌感染を起こした状態。病変周囲に蜂窩織炎を生じ 発赤と痛みを伴う。

局所麻酔下に嚢腫表面の皮膚を切開して 排膿を行い抗生物質の内服にて治療。

瘭　　疽

手足の指趾に生ずる細菌感染症

左の症例の側面像

手足の指趾に生ずる細菌感染症。痛みが強い。病変は蜂窩織炎と同様に皮下組織に及び、爪周囲に膿が貯留して切開を行う場合もある。抗生物質の内服、外用にて治療。巻き爪、小外傷や、ささくれをむしったりすることにより 発症する。上の写真は右手第２指に、ささくれをむしった後から生じた瘭疽。

皮膚の細菌感染症を防止するために必要なこと

- 石鹸で手を洗い、手の清潔を保つ。
- 全身の皮膚も入浴時に石鹸を使って洗浄し、汚れをきれいに落とす。
- 手の爪を伸ばし過ぎない。
- 爪先に汚れがたまらないように する。
- 巻き爪や足白癬がある場合は適切に対処を行う。
- 皮膚を掻かないようにする。
- 指のささくれを むしらないようにする。
- 皮膚に傷ができた場合はきちんと洗浄して清潔を保つ。
- 免疫力が低下しないよう 適度の睡眠、休息を取り過度の疲労を避ける。
- 糖尿病は皮膚の免疫力も低下させるので、早期の発見に努め、発見されたらきちんと治療を行う。